

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぱんはうすくら 熊谷 教室 保護者等数(児童数) 5 回収数 4 割合 80 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	1	0	0	・もう1つ部屋が欲しい。	十分なスペースを確保できるよう検討いたします。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	0	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1	0	1	4階なので難しいと思う。	エレベーターで移動をしております。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	4	0	0	0		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	4	0	0	0	・土日以外遊びがあると嬉しい。	今後は公園イベントなどとりいれていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	1	0	3		現時点では行えておりませんが、ご希望に合わせ検討して参ります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	0	0	0	・子どもの特性をプラスに捉えてくれる。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	0	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	3	0	・他の保護者の方とのお付き合いは難しいと思います。	現状ですと、開催は難しい状況ではありますが、必要に応じて検討して参ります。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1	0	1	・苦情自体がないのでわからない。	ご指摘がないよう常に気を配っておりますが、何かお申入れがあった際は迅速に対応いたします。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	0	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	0		
14 個人情報に十分注意しているか	4	0	0	0		鍵付き書庫にて保管してあります。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	0	0	0		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	0	0	1		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0	0	・子どもはこぱんの先生も友達も大好きです。	通所を楽しみにしていただきありがとうございます。今後も楽しく通っていただけるよう努めて参ります。
	18 事業所の支援に満足しているか	4	0	0	0	・子どもを尊重した関わりをしていると感じ、嬉しく思っています。	今後も保護者・本人に寄り添った支援ができるよう努めて参ります。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 20日

事業所名 こぱんはうすくら 熊谷 教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	人数や活動に応じて教室を行き来したり、区切っている。	静養室のかわりになるスペースの確保を検討。
	2 職員の配置数は適切である	9	0	送迎で職員の人数が一時的に少なくなる際は声掛けを行い1人になる児童が出ないようにしている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	1		手すりやスロープがない為車いすの児童は受け入れが難しい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0	課題や対応の共有はミーティングの際議事録を作成し、見返す事が出来るようにしている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	評価のほかに毎回の送迎の際に相談等をお伺いし、職員で共有している。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	ホームページで公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	5		外部評価の実施を行っていないため、今後検討が必要。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1	ズームでの社内研修のほか、動画での研修の機会を設けている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	年に1度アセスメントシートを更新していただきそれをもとに支援を行い、面談や送迎時に保護者様と情報共有をしながら作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	児童の特性をより理解するために使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	職員全員でプログラム案を出している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	5領域に沿った内容で、毎日違ったプログラムを考案している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	3	児童の意見を尊重し、児童がその日行いたい活動をもとに支援している。	平日と休日だと教室にいる時間が異なるため、より細かく課題や支援を設定していきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	児童1人ひとりの課題を理解し、小集団の中でいかに有効的な支援が出来るか検討・実施している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	8	1	ボードを使い係を配置し、その日1日の職員の役割をわかりやすくしている。その日のリーダーが中心になり児童・職員共に声掛けを行う。	送迎時間が早い日は申し送りが出来ない事もあるため、職員間の情報共有はきめ細やかにしていきたい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	3	申し送りノートを活用し、その日出動しない職員にも共有できるようにしている。	こちらも送迎で戻りが遅い場合があるので、上記同様全職員が把握できる様にしていきたい。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	連絡帳を通して1日の出来事を記入し、見返せるようにしている。	記録をとるだけでなくその記録をもとに支援ミーティングを開いていきたい。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	定期的にモニタリングを行い、目標達成なのか継続なのか判断している。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	0	複数の領域に沿ってプログラムの狙いを定め支援している。		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1	日程を調整し、職員で情報を共有し参加している。	感染症などの影響で担当者会議が延期になってしまう事も多いため、今後調整していきたい。	
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	現在学校迎えがないため、保護者様よりお便りのコピーや行事の情報共有を行っていただいている。必要に応じて電話にて学校と情報共有を行っている。		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	該当者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	1	園に他の児童を迎えに行った際に、当時の担任の先生と情報共有をする機会を頂いている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	8	現時点では該当者なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	3	不定期開催の研修を受けている。	今後より一層の連携をはかるためにも積極的に研修の機会を設けていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	8		必要に応じて今後検討。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	3	積極的に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	連絡帳にはその日の教室での様子や活動内容を記入、送迎時に出来るようになったことや今後の課題について保護者様と情報の共有をしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	4	提案という形で「〇〇をする時に△△と伝えると上手に出来ました」など、お話をする機会を設けている。	今後より積極的に行っていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	契約時にお伝えしている。必要に応じて送迎時や電話など改めてお伝えする機会を設けている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	「こぼんでは〇〇をする時に△△と伝えると上手に出来ました」など、提案という形でお話をする機会を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	8		今後必要に応じて検討。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	苦情があった場合はすぐに管理者へ報告。職員間で共有し、適切な対応を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	毎月予定表と写真付きのお便りを配布、不定期でブログを更新している。	
	35	個人情報に十分注意している	9	0	鍵のかかる書庫に保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	声掛けだけでなくイラストやジェスチャーで伝える、大きな声の一斉指示が苦手な児童もいるため個別で伝達、など配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	8		必要に応じて今後検討。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1	マニュアル等を策定し、いつでも確認が出来る場所に設置している。	実践にも力を入れていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	2	半年に1度、活動プログラムにて児童と一緒にやっている。同時に消火訓練や通報訓練も行って。	避難訓練の様子などを保護者様に発信していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	半年に1度虐待防止の研修を開き、参加出来なかった職員にも把握できる様議事録を作成し見返すことが出来るようにしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	1	上記同様虐待防止研修の際に身体拘束についての研修もやっている。契約時に送迎車乗降の際に手を繋ぐ、飛び出しの危険がある場合は抱える事がある事等を説明。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	医師の指示書はないため、保護者様からご記入いただいたアセスメントシートをもとに対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	ヒヤリハット用のファイルを作成し、誰でも追記、確認が出来るようにしている。	